



第 1 期 苫小牧市スポーツ推進計画 施策事業について

令和 6 年度及び令和 7 年度事業実績

No. 1 市民スポーツ祭の開催

事業目的

各種競技の市民スポーツ祭を開催し、幅広い市民に参加の機会を与え、スポーツの面白さと併せて健康な体づくりに寄与することを目的とする。

事業内容

各種市民スポーツ祭の開催

○市民を対象とした各種スポーツ大会を開催



事業名	R 6 年度実績	R 7 年度実績
卓球大会	183人	155人
フロアカーリング大会	34人	93人
パークゴルフ交流大会	195人	190人
ソフトテニス大会	320人	212人
スポンジテニス大会	40人	30人
ボッチャ交流大会	85人	39人
バドミントン大会	170人	42人



令和 7 年度事業評価

A (順調に実施)

No. 2 ウォーキング事業の開催

事業目的

ウォーキングを通じて、市民の健康づくりと体力づくりを進めるとともに、苫小牧の自然あふれるウォーキングコースを歩くことで、まちの魅力の再発見や郷土愛を深める。

事業内容

(1) ウォーキングスタンプラリーの実施

6月～9月までの期間、参加者各自で設定したコースをウォーキングを行う。ウォーキング後、公共施設でスタンプをもらい、15個貯めるとたまチョップポイントを付与

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
期 間	6 月～9 月	6 月～9 月
参加者	532人	464人

(2) ウォーキングフェスティバルの実施

「認知症啓発 P R 事業」の一環で、介護福祉課と連携し、ウォーキングフェスティバル×オレンジウォーキングとして実施。

10月4日(土)に実施し、221人が参加した。

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
開催日	令和 6 年 9 月 28 日	令和 7 年 10 月 4 日
場 所	そよ風と遊ぶ道 (沼ノ端地区)	そよ風と遊ぶ道 (沼ノ端地区)
参加者	251人	221人



令和 7 年度事業評価

A (順調に実施)

No.3 アールビーズとの協働事業

事業目的

ランニングやウォーキングを中心としたスポーツ事業や社会貢献活動を実施している(株)アールビーズとの協働事業を展開し、本市のスポーツ振興と市民の健康づくりを推進する。

事業内容

協働事業の展開

○包括連携協定を締結し、ランニングやウォーキング等を通じた事業の実施

【連携事項】

- ・スポーツをする子どもの増加と体力の向上に関すること
- ・成人のスポーツ実施者の増加に関すること
- ・障がいのある人のスポーツ参加者の増加に関すること
- ・手軽に参加できるスポーツ環境の整備に関すること
- ・イベント等を通じた地域活性化に関すること

令和7年度事業評価

B（概ね順調に実施）

	R6年度実績	R7年度実績
実施内容	令和6年10月1日から31日まで「オクトーバーラン&ウォーク」を実施。 ※ウォーキングの歩数やランニングの距離をスマートフォンアプリを使用し、全国の自治体と競うオンラインイベント ※苫小牧30Kマラソンは、アールビーズの都合により、中止	令和7年10月1日から31日まで「オクトーバーラン&ウォーク」を実施。



No. 4 スポーツフェスティバルの開催

事業目的

スポーツ都市宣言のまち苫小牧において、スポーツを「みる」、ボランティアの「ささえる」、活動を通して「する」等により、市民のスポーツへの興味が喚起される機会を創出する。

事業内容

スポーツフェスティバルの実施

(1) 市民大運動会

スポーツ玉入れAJTA、企業対抗パン食いリレー、100人綱引き

(2) やってみよう！スポーツ体験会

バスケットボール、バレーボール、フットサル、パラスポーツ、ダブルダッチ、アームレスリング、器械体操、弓道、ランバイク等

(3) やってみよう！スポーツ発表会

芸人パンサー尾形によるトークショー
芸人パンサー尾形によるリフティング対決

(4) ささえてみよう！スポーツEXPO

協賛企業や団体等のPR活動

令和7年度事業評価

A（順調に実施）

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
開催日	令和 6 年10月14日	令和 7 年10月13日
場 所	総合体育館	総合体育館
参加者	4,841人	5,697人



No.5 スポーツ習慣化促進事業（令和6年度からの新規事業）

事業目的

働き盛り世代や運動無関心層を対象に、本市の特色をいかした運動プログラムを実施し、市民のスポーツに取り組むきっかけづくりや、運動習慣の定着化を図る

事業内容

トレーニング教室及び実行委員会の開催

○実施内容

スポーツ庁の補助事業『運動・スポーツ習慣化促進事業（スポーツによる地域活性化推進事業）』を活用し、以下の取り組みを実施

- 1 トレーニング教室の開催
4種類のトレーニング教室の開催
- 2 運動資源マップの作成
これから運動をはじめたい方（初心者）や健康診断などの結果、生活習慣の改善が必要な方など向けに、市内にある関連資源をまとめたマップを作成
- 3 実行委員会の開催
市及び市内関連団体等9団体で構成する実行委員会を組織し、上記の取組に関する進捗管理を実施した。

令和7年度事業評価

A（順調に実施）

	R6年度実績	R7年度実績
実施内容	・レッドイーグルス北海道と連携し、アイスホッケー体験とコーディネーショントレーニングを提供した。 ・第1期2期併せて合計62名が参加	トレーニング教室参加者数 (1)企業訪問教室 5社 98人 (2)託児付き親子教室 26人 (3)目的別トレーニング教室 29人 (4)アイスホッケー教室 21人



No. 6 市民スポーツ開放事業（学校開放事業）

事業目的

小・中学校の体育館や校庭を学校教育活動に支障のない範囲で解放し、スポーツ活動や社会教育に活用する。

事業内容

市民スポーツ開放事業の実施

令和 7 年度事業評価

A（順調に実施）

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
小学校	21校	22校
中学校	2 校	2 校
利用人数	151,962人	143,111人

No. 7 児童の健全育成

事業目的

市内各児童センターにおいて、児童が遊びを通して運動に親しむ習慣の形成や体力の増進を図る。また、それらの活動を通じて児童センターの利用促進を図る。

事業内容

児童センター運動事業の実施

令和 7 年度事業評価

A（順調に実施）

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	利用者数：189,077人	利用者数：183,544人

No. 8 スポーツ施設利用者・スポーツイベント参加者へのポイント付与

事業目的

市のスポーツ施設利用者やスポーツイベント参加者に対して、商業施設等で利用できるポイントを付与し、スポーツへの参加を促進する。

事業内容

とまチョップポイントの付与

令和 7 年度事業評価

B（概ね順調に実施）

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	9 事業（イベント）の参加者にポイント付与	6 事業（イベント）の参加者にポイント付与 ※ポイントの付与は R 7.12月で終了

No. 9 スポーツに関する情報発信

事業目的

子どもが対象となる行事案内を毎月、各公共施設に配布し、スポーツの振興や生涯学習の機会の充実を図る。

事業内容

子どものための行事案内

令和 7 年度事業評価

A（順調に実施）

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	毎月「こどものための行事案内」を小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布するとともに、ホームページ等で情報提供	同内容で実施

No.10 青少年スポーツ振興事業

事業目的

少年団等の活動内容を紹介する動画をインターネット等で配信し、競技人口の底上げを図るとともに、スポーツを通じた健康や体力づくり、地域スポーツの振興を推進する。

事業内容

(1) スポーツ団体の紹介動画作成・配信

【動画について】

少年団等の練習や選手・監督取材し紹介するほか、練習スケジュールや会費などの情報を提供

【配信について】

スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ、同好会等を対象に、年間8団体程度を市公式YouTubeにて配信

(2) 全国初スポーツ都市宣言のロゴ作成

全国で初めてスポーツ都市宣言を行ったことを周知するため、ロゴを作成し、ステッカー及びクリアファイルを取材協力団体へ配布

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	9 団体を取材	8 団体を取材



令和 7 年度事業評価

A (順調に実施)

No.11 苫小牧市老人クラブ連合会への補助

事業目的

お年寄りの健康づくりと友愛、交流を深めるため、苫小牧市老人クラブ連合会主催の「老人オリンピック」に係る費用の一部を助成する。

事業内容

老人オリンピックの開催

令和7年度事業評価

A（順調に実施）

	R6年度実績	R7年度実績
内容	中止	コロナ禍で中止となっていた老人オリンピックについて、競技内容等を変更し、6年ぶりに開催 ・競技：モルック ・参加者数：307名（34クラブ）

No.12 70歳以上の方へのスポーツ施設無料利用券発行

事業目的

市内在住の70歳以上の方にスポーツ施設無料利用券を発行し、健康づくりや体力づくり、生きがいづくりを図る。

事業内容

スポーツ施設無料利用券の発行

令和7年度事業評価

A（順調に実施）

	R6年度実績	R7年度実績
内容	スポーツ施設13施設の無料利用券を発行	同内容で実施

No.13 保健センターを利用した運動教室・講座

事業目的 健康づくりに関する教室・講座を開催し、市民の健康増進を図る。

事業内容 教室・講座等の開催

令和7年度事業評価 A（順調に実施）

	R6年度実績	R7年度実績
内容	健康づくり教室、運動教室、 栄養教室、健康栄養相談等 ・開催数 113回 ・参加人数 1,182人	健康づくり教室、運動教室、 栄養教室、健康栄養相談等 ・開催数 104回 ・参加人数 886人

No.14 健康に関するイベント実施

事業目的 健康づくりの契機となる事業を開催し、市民一人ひとりが健康を意識し、継続的に健康づくりに取り組むことができるよう、生活習慣改善の意識づけを図る。

事業内容 「健考・健幸DAY」の開催

令和7年度事業評価 A（順調に実施）

	R6年度実績	R7年度実績
内容	スポーツフェスティバルの イベントにおいて健康づく りの体験ブースを出展	イオンモール苫小牧で開催し、14の ブース設置及び運動フィットネスを はじめとするステージプログラムな どを行った。 延べ人数1,952人が参加

No.15 とまこまいマラソン大会の開催

事業目的

多くの方々が参加することができるマラソン大会の開催を通じて、健康でたくましい心と体をつくり、豊かで明るいまちづくりをすすめる。

事業内容

出光北海道 とまこまいマラソン大会の開催

・ 勇払地区を会場に 3 部門構成のマラソン大会を実施

① ハーフマラソン (511人)

② 10 km (310人)

③ 2 km ファンラン (357人)

・ キッチンカー等のイベントブースを設置

★令和6年度の第41回大会より、
出光興産(株)北海道製油所と冠スポンサー契約を締結
大会名にネーミングライツを導入

令和7年度事業評価

A (順調に実施)

	R6 年度実績	R7 年度実績
開催日	令和6年9月22日	令和7年6月29日
場 所	勇払地区及び周辺道路	勇払地区及び周辺道路
参加者	749人	1,178人



No.16 八地区スポーツフェスティバルへの支援

事業目的

市内を8地区に分け、身近な地域で開催する地区スポーツフェスティバルの運営費を補助し、気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。

事業内容

八地区スポーツフェスティバルの開催

- ・スポーツ推進委員会を中心に、各地区で実行委員会等を組織し、ウォーキングやフロアカーリングのほか、各レクリエーション競技を実施
- ・各地区実行委員会へ運営費7万円を補助



令和7年度事業評価

B（概ね順調に実施）

	R6年度実績		R7年度実績	
	実施種目	参加人数	実施種目	参加人数
錦岡地区	ボッチャ モルック	30	※実施なし	—
糸井地区	ウォーキング フロアカーリング	130	ウォーキング フロアカーリング	120
中央東地区	フロアカーリング	22	※実施なし	—
中央南地区	ウォーキング モルック	75	ウォーキング モルック フロアカーリング	87
中央西地区	フロアカーリング カーリンコン	93	フロアカーリング カーリンコン	86
中央北地区	スポーツフェス ティバル フロアカーリング	360	フロアカーリング	74
沼ノ端地区	ソフトボール ウォーキング ミニバレー ホーキングホッ ケー	172	アリーナフェス ティバル	80
勇払地区	パークゴルフ	26	パークゴルフ	26

No.17 小学校低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会の開催

事業目的

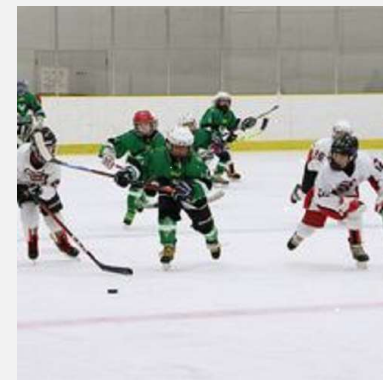
小学校低学年を対象としたアイスホッケー大会を開催し、競技の楽しさ・面白さを伝え普及を図る。

事業内容

Jr.アイスホッケーチャレンジカップの開催

○小学生アイスホッケー同好会連合会の4年生以下を対象とした大会を開催

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
開催日	令和 6 年12月 7 日～15日	令和 7 年12月2日～12月21日
チーム数 試合数	・ B チーム戦 4 チーム リーグ戦 6 試合 ・ C チーム戦 2 チーム 2 試合	・ B チーム戦 3 チーム リーグ戦 3 試合 ・ C チーム戦 2 チーム 3 試合
参加者	70名	179名



令和 7 年度事業評価

A (順調に実施)

No.18 氷上スポーツ育成事業

事業目的

幼児や小学校低学年が対象となる、氷上スポーツ体験教室の開催や実施を支援し、競技人口の底辺拡大と子どもの体力向上を目的とする。

事業内容

(1) スケートエンジョイスクールの開催

- ①「スケートコース」 対象：4歳～6歳
- ②「アイスホッケーコース」 対象：4歳～6歳
- ③「小学生アイスホッケーコース」 対象：小1～小4

(2) スピードスケート体験教室の開催

(3) 幼児対象氷上スポーツ助成の実施

幼稚園等がスケートリンクで行う氷上スポーツ行事の費用を3万円まで助成

		R6年度実績		令和7年度実績	
		参加者	回数	参加者	回数
スケート	nepia	31人	12回	30人	12回
	ダイナックス	25人	12回	30人	12回
	新ときわ	13人	12回	21人	12回
アイスホッケー	nepia	20人	12回	29人	12回
	ダイナックス	21人	12回	18人	12回
	新ときわ	14人	12回	16人	12回
小学生アイスホッケー	nepia	42人	12回	40人	12回

	R6年度実績		R7年度実績	
	参加者	回数	参加者	回数
スピードスケート体験教室	12人	15回	16人	16回

	R6年度実績	R7年度実績
助成内訳	24団体	24団体
助成金額	588,750円	533,650円

令和7年度事業評価

A（順調に実施）

No.19 町内会スケートリンク経費助成

事業目的

身近な地域で気軽にスケートを楽しめる環境をつくるため、町内会に対してスケートリンク設置経費を補助する。

事業内容

町内会スケートリンク経費助成金事業の実施

○町内会が実施するスケートリンク設置事業に対し、
1リンク62,750円を上限に助成

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
助成町内会	1 町内会	2 町内会
助成金額	62,750円	125,500円



令和 7 年度事業評価

B (概ね順調に実施)

No.20 スポーツイベントの情報発信

事業目的

各スポーツ施設のイベント情報を市の広報媒体で広く発信し、市民のスポーツへの参加を推進する。

事業内容

スポーツイベントの情報発信

令和7年度事業評価

A（順調に実施）

	R6年度実績	R7年度実績
内容	市ホームページ、広報とまこまい、SNSなどで、各種スポーツイベントの情報を発信	同内容で実施

No.21 スポーツ団体に関する情報発信

事業目的

年に1回サークルガイドを作成し、スポーツのほか文化・芸術等の団体一覧を公共施設や市ホームページ等で情報提供し、生涯学習に取り組む機会を提供する。

事業内容

サークルガイドの作成

令和7年度事業評価

A（順調に実施）

	R6年度実績	R7年度実績
内容	毎年6月にサークルガイドを作成し、公共施設への配布のほか、市ホームページ等で情報提供	同内容で実施

No.22 全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催

事業目的

「氷上の甲子園」と呼ばれる、インターハイと並ぶ全国大会を開催し、アイスホッケータウンとしての知名度向上や全国的な競技の振興を図る。

事業内容

全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催（実行委員会補助）

○会 場

- ・ nepia アイスアリーナ
- ・ ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ
- ・ 新ときわスケートセンター

○出場枠

- ・ 各都道府県 1 チーム
- ※ただし、活動の多い地域として
北海道10チーム、青森2チーム、東京2チーム

○その他

- ・ 敗者戦を設け、全チーム2試合以上を確保
- ・ 市外チームを対象に、大会前に合宿枠等を設け、無料でリンク貸出
- ・ 参加選手を対象とした大学紹介ブース設置

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
日 程	【第19回大会】 令和 6 年 7 月 30 日～8 月 4 日	【第20回大会】 令和 7 年 7 月 28 日～8 月 3 日
参加チーム	28チーム	33チーム ※第20回記念大会として参加を希望する全てのチームが出場できるようにした。
参 加 者	選手・関係者 676人 大会役員 150人 合計 826人	選手・関係者 774人 大会役員 152人 合計 926人
観 客 数	7,804人	8,238人
補助金額	5,000,000円	5,500,000円



令和 7 年度事業評価

A（順調に実施）

No.23 全国・全道大会開催誘致活動

事業目的

本市の魅力を道内外に情報発信するとともに、補助金制度により各種スポーツの全国・全道大会の開催を誘致し、地域の活性化を図る。

事業内容

全国・全道スポーツ大会開催運営費補助金事業の実施

○本市で開催されるスポーツ競技の全国及び全道大会への補助

【対象となる大会】

- (1) 主に小学生、中学生、高校生、高専生、大学生を対象とした大会であること。
- (2) 次の団体が主催する大会であること。
 - ①(公財)日本スポーツ協会加盟の競技団体
 - ②全国中学校体育連盟及び北海道中学校体育連盟
 - ③(公財)全国高等学校体育連盟及び北海道高等学校体育連盟
 - ④全国高等学校野球連盟及び北海道高等学校野球連盟

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
補助大会数	全道大会： 4 件	全道大会： 5 件
補助額	496,000円	750,000円



No.24 令和5年度全国高等学校総合体育大会の開催

事業目的

高校生スポーツ最大の祭典である全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のソフトテニス競技大会及びテニス競技大会を開催する。

事業内容

令和5年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス・テニス競技大会の開催 (実行委員会補助)

競技1 ソフトテニス競技

- 日程 令和5年7月22日(土)～29日(土)
- 会場 開会式 市民会館
競技会場 緑ヶ丘公園庭球場
- 参加者 選手・監督コーチ等 2,015人
観客数 10,700人

※令和5年度実行委員会補助額 15,319,559円

競技2 テニス競技

- 日程 令和5年7月31日(月)～8月7日(月)
- 会場 開会式 市民会館
競技会場 緑ヶ丘公園庭球場
千歳市青葉公園庭球場
- 参加者 選手・監督コーチ等 744人
観客数 7,100人



令和5年度事業評価

A (順調に実施)

※令和5年度単年度事業

No.25 第78回国民スポーツ大会冬季大会(スケート・アイスホッケー)の開催

事業目的

国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツ推進と地方文化発展への寄与等を目的に大会を開催する。

事業内容

第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催 (実行委員会補助)

○競技・会場・日程

開始式	苫小牧市民会館	令和6年1月27日
スピードスケート	ハイランドスポーツセンター	令和6年1月28日～1月31日
ショートトラック	新ときわスケートセンター	令和6年1月28日～1月29日
フィギュアスケート	nepiaアイスアリーナ	令和6年1月28日～1月31日
アイスホッケー	nepiaアイスアリーナ ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ 新ときわスケートセンター	令和6年1月30日～2月3日

○大会参加者数

2,282人（選手・監督1,734人 大会役員等548人）

○令和5年度実行委員会補助額 34,465,000円

令和5年度事業評価

A（順調に実施）



※令和5年度単年度事業

No.26 スポーツ合宿等助成

事業目的

スポーツ合宿を実施する市外の団体に対して経費の一部を補助し、誘致を図るとともに、地域の活性化や競技力の向上につなげる。

事業内容

苫小牧市スポーツ合宿等補助金事業の実施

○要件

- ◎苫小牧市内の宿泊施設とスポーツ施設を利用
- ◎(参加者数)×(宿泊日数)が5泊以上
- ◎原則練習等を公開し、市民等に見学を可能にしている
- ◎非営利目的

○助成額（一人1泊あたり）

- ◎一般スポーツ団体 1,000円
- ◎中央競技団体 2,000円

○上限額

- ◎一般スポーツ団体 100,000円
- ◎中央競技団体 200,000円

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
合宿件数	112件	129件
補助金額	5,887,000円	6,756,000円

とまこまい
北海道苫小牧市 最大10万円!
スポーツ合宿等補助制度

～苫小牧市が合宿地に選ばれるワケ！～

- ✓ダブルポートでアクセス抜群！
 - ・新千歳空港から車で約30分
 - ・苫小牧港を出發するフェリーは週60便（日本一！）
- ✓夏が涼しくトレーニングに最適
 - ・毎年早い8月の平均気温が20.9℃
- ✓合宿費用を一部サポート
 - ・実業団、高校やクラブ等に所属する団体の合宿費用を補助

助成額

- ◎一般スポーツ団体 1,000円
- ◎中央競技団体 2,000円
- ※1人1泊あたり

上限

- ◎一般スポーツ団体 100,000円
- ◎中央競技団体 200,000円
- ※1団体あたり

要件

- ◎苫小牧市内の宿泊施設とスポーツ施設を利用
- ◎(参加者数)×(宿泊日数)が5泊以上
- ◎練習、練習等を公開し、市民等に見学を可能にしていること
- ◎非営利目的

申請手続きの流れ

合宿開始2週間前までに「合宿実施計画書」提出

合宿終了後、1か月以内に「実績報告書」提出

市から補助金申請通知後に「助成金請求書」提出

助成金交付

【お問い合わせ先】
苫小牧市経済産業部スポーツ都市推進課
TEL: 0144-34-6931 FAX: 0144-34-6932
MAIL: sports@city.tomakomai.hokkaido.jp
※詳細はホームページをご覧ください。

令和6年度 合宿来訪団体情報

今年 合宿来訪団体（予定団体含む）

★サッカー

団体	分類	人数	期間	会場
旭川龍谷高等学校	高校生	31	令和6年4月2日～令和6年4月4日	苫小牧中央高等学校・緑ヶ丘公園サッカー場
札幌ジュニアFC	小学生	26	令和6年5月3日～令和6年5月4日	エルボノスグラウンド
カベツサ横浜	小学生	24	令和6年8月4日～令和6年8月6日	TOMASEIフットボールフィールド
カンパ大阪	小学生	16	令和6年8月4日～令和6年8月7日	TOMASEIフットボールフィールド
京都府トレセン	小学生	27	令和6年8月4日～令和6年8月7日	TOMASEIフットボールフィールド
順天中央初等学校	小学生	21	令和6年8月4日～令和6年8月7日	TOMASEIフットボールフィールド
フットボーイズ	小学生	14	令和6年8月4日～令和6年8月7日	TOMASEIフットボールフィールド
WEST SHIROISHI	小学生	15	令和6年8月5日～令和6年8月6日	TOMASEIフットボールフィールド

★テニス

団体	分類	人数	期間	会場
札幌学院高等学校	高校生	7	令和6年4月1日～令和6年4月2日	緑ヶ丘公園運動場

令和7年度事業評価

A（順調に実施）

No.27 スポーツ合宿の誘致活動

事業目的

MICE誘致推進協議会により、本市の優位性をPRし、市外の団体等の合宿を誘致する。

事業内容

合宿誘致セールス等の実施

○内 容

首都圏の競技団体等を中心に合宿の誘致セールスを実施。また、合宿を実施した団体には、歓迎品として、スポーツドリンク等を進呈

○実施主体

苫小牧市MICE誘致推進協議会（事務局：観光協会）

主な構成員

- ・観光協会
- ・商工会議所
- ・苫小牧市（観光政策課・スポーツ都市推進課）
- ・苫小牧市スポーツ協会
- ・旅行取扱業

令和7年度事業評価

A（順調に実施）

	R6年度実績	R7年度実績
内容	令和7年1月25日から29日の日程で、沖縄県内Jリーグキャンプ地及び県内MICE施設を視察し、受け入れ環境の把握及びチーム関係者へのセールスを実施	・サッカーJ1「名古屋グランパス」の2026-27シーズン夏季トレーニングキャンプの誘致決定 ・令和8年2月17日から19日の日程で、東京都内の旅行代理店及び大学等に対し、合宿誘致に関するセールス活動を実施



No.28 アイスホッケー競技NTC事業の推進

事業目的

ナショナルトレーニングセンター強化拠点指定施設になっている、nepiaアイスアリーナのトレーニング環境の整備等を行い、日本アイスホッケー競技のレベルアップを図る。

事業内容

(1) 中央競技団体による施設利用

- ① 男子ナショナルチーム代表候補合宿
- ② 女子ユースキャンプ
- ③ 女子ユーススキルアップキャンプ
- ④ 女子NTCスクール
- ⑤ 女子ナショナルチーム代表合宿

(2) 強化・育成活動

- ① nepiaアイスアリーナ及びダイナックス沼ノ端アイスアリーナでの練習、練習試合
- ② フィットネスチェック及びコンディショニングチェック
- ③ 栄養、メンタルサポート

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
NTC事業活動日数	173日	202日
事業費	18,277,728円	14,253,689円



No.29 プロスポーツの試合開催

事業目的

トップレベルのスポーツ観戦の機会をつくり、スポーツが持つ楽しさや感動を共有し、スポーツ人口の増加を図る。

事業内容

プロスポーツ等の試合開催

○世界大会やプロスポーツ等の試合開催を誘致し、スポーツを観る機会を創出する。



	R 6 年度実績	R 7 年度実績
開催 試合	①アジアリーグアイスホッケー 2024-2025レギュラーシーズン/ プレーオフ ②ミラノ・コルティナ2026冬季 オリンピック女子アイスホッ ケー最終予選 ③Fリーグ2024-2025 ディビ ジョン 2 第16節 ④ニトリレディスゴルフトーナ メント	①アジアリーグアイスホッケー 2025-2026レギュラーシーズン/ プレーオフ ②Fリーグ2025-26ディビジョン 2 第8節 ③ISPS HANDA 夏に爆発 どれだ けバーディー取れるんだトーナ メント（男子ゴルフツアートー ナメント）

No.30 スポーツ大会遠征費補助金

事業目的

全道・全国大会に出場する小学生から大学生の団体・個人に対して、遠征に係る経費の一部助成等を行い、選手のレベルアップはもとより、所属チームなどにも経験を還元し、地域のスポーツ振興につなげる。

事業内容

(1) 遠征費補助金事業の実施

- ①大 会：全道・全国大会
- ②対象者：市内在住の小・中学生
⇒ 交通費 7 割 + 宿泊費 3 千円/泊
市内在学の高校・大学生等
⇒ 一律1万円

(2) 国際大会出場奨励金事業の実施

- ①大 会：オリンピック、世界選手権等
- ②対象者：市内在住・在学、市内チームに所属する者
- ③交付額：10万円/人（オリンピック）
5 万円/人（世界選手権）
3 万円/人（その他、学生のみ）

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
補助件数	142件 (全28競技種目)	121件 (全24競技種目)
補助人数	1,220人 ・小学生 309人 ・中学生 491人 ・高校生 149人 ・大学生 0人 ・引率 271人	1,113人 ・小学生 261人 ・中学生 477人 ・高校生 173人 ・大学生 0人 ・引率 202人
補助金額	14,667,876円	17,237,500円

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
補助件数	3 件	19件
奨励金	180,000円	1,340,000円

No.31 女性アスリートの健康に関する性教育講座（令和6年度新規）

事業目的

性教育講座を実施し、女性アスリートが安心して競技ができ、パフォーマンスを最大限に引き出すことのできる社会環境を整備する。

事業内容

性教育講座の実施

○内 容

- (1) 産婦人科医による講座
 - ・ 生理等の基礎知識
 - ・ 競技中の困りごと
 - ・ 生理等の積極的コントロール
 - ・ 指導者の対応方法
- (2) グループワーク

○開催概要

- (1) 日 時 令和6年8月22日（木） 午後6時から
- (2) 場 所 nepiaアイスアリーナ
- (3) 参加者 市内女子アイスホッケー競技者、指導者、保護者

令和7年度事業評価

D（未実施）

高めようチーム力
女性
アスリート
性教育
講座

8/22
THU. 18:00~

nepiaアイスアリーナ

講座は合わせて90分！
選手のパフォーマンスを最大限に引き出し、さらなる高みを目指しませんか？

1部 産婦人科医による講座
生理等の基礎知識
競技中の困りごと
生理等の積極的コントロール
指導者の対応方法

2部 坂梨氏によるグループワーク

【主催】 苫小牧市、(公財)苫小牧市スポーツ協会
【協力】 mederi(株)

【詳細】 苫小牧市 総合政策部
協働・男女平等参画室 スポーツ都市推進課
TEL 0144-84-4052 TEL 0144-34-9601

さかなし ありさ
坂梨 亜里咲氏
mederi(株)代表取締役

料金無料
産婦人科医等
専門家が講師
アスリート
向け性教育

No.32 アスリートに対する応援事業

事業目的

本市ゆかりのアスリートをまち全体で応援し、市民のスポーツへの興味関心を高めることで、スポーツ人口の増加につなげる。

事業内容

アスリートに対する応援事業

- 市民がアスリートを応援する機運を高めるため、オリンピック・パラリンピック等の出場者への壮行会、メダル受賞者や、プロ野球ドラフト会議指名選手等のセレモニーを実施



	R 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	・ 市長表敬訪問：36件 (スポーツ分野) ・ 横断幕の掲示	・ 市長表敬訪問：50件 (スポーツ分野) ・ 横断幕の掲示

令和 7 年度事業評価

A (順調に実施)

No.33 スポーツマスター事業

事業目的

スポーツ分野において輝かしい功績を残した本市ゆかりのアスリートにスポーツマスターの称号を与え、スポーツ教室などを通じて、スポーツの振興を図る。

事業内容

(1) スポーツマスターの称号授与

オリンピック・パラリンピックその他の国際的又は全国的な競技会等において輝かしい活躍をし、その功績が特に顕著であるアスリートに対し称号を与える。

(2) スポーツ教室等の協力

市や各団体等が主催する講演会、講習会及び実技指導等の事業への協力



※現在のスポーツマスター

	氏名	競技	称号授与日
1	引木 孝夫 氏	アイスホッケー	H 7. 9.25
2	鈴木 秀太 氏	バスケットボール	H 7. 9.25
3	高澤 秀昭 氏	野 球	H 7. 9.25
4	山中 宏美 氏	スピードスケート	H 8.12.26
5	本間 貞樹 氏	アイスホッケー	H12.10.12
6	佐藤 久佳 氏	水 泳	H28. 9.22
7	大澤 ちほ 氏	アイスホッケー	R6.10.14

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
教室	水泳教室 37名参加 (佐藤スポーツマスター)	①アイスホッケー教室 18名参加 (大澤スポーツマスター) ②佐藤・大澤スポーツマスターによる「オリンピック講演会」 36名参加
称号授与	アイスホッケー女子 元日本代表主将 大澤 ちほ氏	※授与者なし

令和 7 年度事業評価

A (順調に実施)

No.34 レッドイーグルス北海道との協働事業

事業目的

本市をホームタウンとするアイスホッケーチーム「レッドイーグルス北海道」との協働事業を展開し、スポーツ振興及び青少年の健全育成を図る。

事業内容

協働事業の展開

○内 容

包括連携協定を締結し、学校訪問、若年層への競技指導等を実施

○連携事項

- ・スポーツ振興に関すること
- ・青少年の健全育成に関すること
- ・苫小牧市とレッドイーグルス北海道のPRに関すること
- ・レッドイーグルス北海道に対する活動運営の支援に関すること
- ・レッドイーグルス北海道が実施する地域貢献活動への支援に関すること
- ・レッドイーグルス北海道と市民との交流に関すること
- ・その他地域貢献活動に関すること

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
実施内容	・都市再生コンテンツ創出事業によるホームゲームの支援 ・アイスホッケー教室の開催 ・スケート授業の協力 ・学校、幼稚園訪問 ・著名人の招聘などを通じた来場者促進 ・全国高等学校選抜アイスホッケー大会の演出協力 ・新生児対象オリジナルグッズ配布 ・スポーツ習慣化事業	同内容で実施



令和 7 年度事業評価

A（順調に実施）

No.35 青森県八戸市との連携

事業目的

アイスホッケータウンとして共通点を持つ青森県八戸市と協働事業を展開し、アイスホッケーの競技力向上を図るとともに、フェリー航路での交流人口の拡大を図る。

事業内容

小学生アイスホッケー交流試合の実施

○本市と八戸市のアイスホッケー小学生選抜

チームが隔年で相互に訪問

- ・ 交流試合
- ・ アイスホッケーアジアリーグ観戦
- ・ 市内施設見学 など

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
実施内容	・ 10月26日～27日に実施 ・ 八戸市小学生選抜チームが本市を訪れ交流試合やものづくり体験を実施 ・ nepiaアイスアリーナにて「レッドイーグルス北海道」vs「H.C.栃木日光アイスバックス」の試合を観戦	※令和7年12月8日青森県東方沖地震により、アイスホッケー交流は直前で中止となった。



令和7年度事業評価

D (未実施)

No.36 北海道応援大使プロジェクト

事業目的

北海道日本ハムファイターズの協力を得て、スポーツを観る、応援する市民の拡大を図るとともに、北海道ボールパークで開催される試合で本市のPRを行う。

事業内容

「北海道応援大使プロジェクト」提供サービスの利用

○北海道日本ハムファイターズが北海道ボールパークFビレッジ内で提供するエンターテインメントやチームコンテンツを活用し、道内の地域活性化を支援する。

【取組事例】

- ・ 苫小牧市民応援デー
- ・ ヒーロー賞贈呈
- ・ 選手交流会
- ・ キッズ応援団

	R 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	・ 苫小牧市民応援デー 5月10日開催 千葉ロッテマリーンズ戦 抽選600組（1組2人まで） ・ グラウンドでダンス 6月30日開催 福岡ソフトバンク戦 10名参加（抽選）	・ 苫小牧市民応援デー 5月14日開催 オリックス・バファローズ戦 抽選300組（600人） ・ 地域PRブースの設置 6月15日開催 広島カープ戦



令和7年度事業評価

A（順調に実施）

No.37 スポーツ推進委員会活動

事業目的

各種会議へ参加しスポーツの学びを深め、市主催・共催事業への協力、フロアカーリング等の老若男女が楽しめるスポーツイベントの企画等を実施し、地域スポーツの普及・推進を図る。

事業内容

定例会議の開催や活動の支援

○苫小牧市スポーツ推進委員

スポーツ基本法第32条に基づく、市の非常勤職員
(任期は2年)

- ・人数：37人 ※令和8年3月末時点
- ・任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日
2年ごとに改選

○主な活動内容

地域におけるスポーツ事業の運営や指導、
マラソン大会やスケートまつり、市主催事業、
出前講座等の協力

令和7年度事業評価

A (順調に実施)

	R6年度実績	R7年度実績
内容	・定例会議 ・スポーツ推進委員研修会 ・北海道スポーツ推進委員研究協議会参加 ・全国スポーツ推進委員研究協議会参加 ・胆振管内スポーツ推進委員研修会参加 ・市主催、共催事業への協力等	同内容実施



No.38 スポーツボランティアの募集

事業目的

スポーツイベントやスポーツ大会等を支えるボランティアを募り、スポーツを通じた地域の活性化やスポーツ振興を図る。

事業内容

スポーツイベントへの協力

令和 7 年度事業評価

B（概ね順調に実施）

	令和 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	苫小牧市スポーツ協会がスポーツボランティアの募集を通年で行い、各種スポーツイベントに協力	同内容で実施

No.39 アスリートフードマイスターの紹介

事業目的

身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援し、スポーツ大会や合宿誘致に向けた環境整備を行う。

事業内容

アスリートフードマイスターの紹介

令和 7 年度事業評価

A（順調に実施）

	令和 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	アスリートフードマイスターの紹介やレシピ等を市ホームページで公開	同内容で実施

No.40 指定管理者の自主事業の充実

事業目的

指定管理者による自主事業の充実により、市民の心身の健全な発達、スポーツ振興や施設の利用率向上を図る。

事業内容

指定管理者による自主事業の実施

○指定管理者が独自に各種教室や大会を開催



	R 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	【参加人数】 168,726名 【主な事業】 ・カーリング体験 ・小学生スケートスクール ・ラボスポーツ教室 ・椅子ヨガ&やさしいヨガ 他多数	【参加人数】 148,753名 【主な事業】 ・アブロススポーツアカデミー ・水鏡見学会 ・背骨コンディショニング ・ストリートスポーツフェスティバル 他多数

No.41 北洋大学との連携

事業目的 北洋大学の協力を得て市内のスポーツ振興を図る。

事業内容 スポーツイベントでの事業協力

北洋大学の連携・協力の一環として、スポーツ分野における事業協力を実施



	R 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	※令和 6 年度は実施なし	スポーツ習慣化促進事業実行委員会委員として、大学の先生に参画いただき、市民のスポーツ実施率向上に向けた助言をいただいている。

令和 7 年度事業評価

C(やや遅れて実施)

No.42 パラスポーツ教室

事業目的

各種教室などを通じて、障がいのある方がスポーツに親しみ、交流していただくことで、社会参加を促進する。
また、健常者に体験していただき、競技に対する理解やふくしの心の育成を図る。

事業内容

パラスポーツ教室の開催

○各競技団体から講師を招き、福祉ふれあいセンター等を会場に年間5種目の教室を開催



実施内容	R 6 年度実績	R 7 年度実績
フライングディスク	32人	23人
ボッチャ	53人	38人
パラアイスホッケー	20人	17人
車いすバスケットボール	37人	38人
フロアカーリング	31人	26人



令和7年度事業評価

A (順調に実施)

No.43 パラスポーツ体験会

事業目的

様々なパラスポーツ競技を体験できる事業を通じて、パラスポーツを周知し、競技人口の拡大や障がいへの理解促進につなげる。

事業内容

パラスポーツ体験会の開催

- (1) パラスポーツ競技団体等の協力により、各種目のブースを設け、スタンプラリー方式による競技体験を実施
- (2) ボッチャ体験大会やトークショー等も実施



	R 6 年度実績	R 7 年度実績
開催日	令和 7 年 3 月 15 日	令和 8 年 3 月 14 日
会場	総合体育館	総合体育館
実施競技	・車いすバスケットボール ・ボッチャ ・フライングディスク ・パラ陸上 ・サウンドテーブルテニス ・車いすソフトボール ・車いすラグビー ・スポーツ吹き矢 ・モルック	同内容で実施
参加者	210人	220人



令和 7 年度事業評価

A (順調に実施)

No.44 既存スポーツ施設の改修

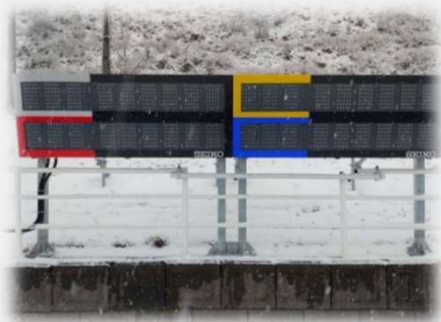
事業目的

老朽化が進んでいるスポーツ施設を改修・再整備することで、魅力を向上し、より多くの方に利用いただける施設として有効に活用する。

事業内容

老朽化した施設や設備等の改修

○老朽化が進んだスポーツ施設の優先順位を定め、計画的な改修・再整備を実施



	R 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	・ 陸上競技場改修 (第三種公認継続) ・ nepiaアイスアリーナ 館内照明制御システム 更新 ・ ダイナックス沼ノ端 アイスアリーナ冷凍機 設備分解整備 他多数	・ 新ときわスケートセンター リンク照明LED化工事 ・ nepiaアイスアリーナ冷却設 備等更新業務 他多数
事業費	200,382千円	119,956千円

No.45 スポーツ施設の一体管理

事業目的

複数のスポーツ施設を1つの指定管理者が一体的に管理することで、施設の効果的・効率的な運営や、利用促進を図る。

事業内容

スポーツ施設の一体管理

○スポーツ施設の効果的・効率的な運営のため、指定管理者による一体管理を実施



	R 6 年度実績	R 7 年度実績
内容	・総合体育館、日吉体育館、川沿公園体育館の一体管理 ・緑ヶ丘公園スポーツ施設の一体管理 (ハイランドスポーツセンター、とましんスタジアム、清水野球場、少年 野球場、庭球場、サッカー場、ヤクルト緑ヶ丘陸上競技場)	同内容で実施



令和 7 年度事業評価

A (順調に実施)